

【循環器疾患】

1 目標項目に関連した施策

- 循環器疾患について健康教室や健康相談による普及啓発
- 地域団体、医療機関、学校、企業等との連携による健康教室
- 特定健康診査及び特定保健指導の実施及び検査項目の充実
- 健康診査の受診率向上のための各種取組の実施
- 様々な媒体等による特定健康診査の受診勧奨
- 特定健康診査を受診しやすい環境づくり
- 循環器疾患の予防行動に結びつける仕組みづくりの検討

2 目標項目ごとの進捗状況

No.	目標項目（指標）	ベースライン値 （策定時）	中間目標値	中間実績値 （直近値）	最終目標値	評価
1	循環器疾患による 死亡率の減少 （脳血管疾患・虚血性心疾患 の年齢調整死亡率 ～10万人当たり～）	脳血管疾患 男性 40.8 女性 19.3 （平成 22 年）	脳血管疾患 男性 38.1 女性 18.6 （平成 27 年度）	脳血管疾患 男性 31.5 女性 17.7 （平成 27 年）	脳血管疾患 男性 34.3 女性 17.7 （平成 34 年度）	A
		虚血性心疾患 男性 42.3 女性 18.1 （平成 22 年）	虚血性心疾患 男性 37.9 女性 16.3 （平成 27 年度）	虚血性心疾患 男性 33.2 女性 12.8 （平成 27 年）	虚血性心疾患 男性 31.8 女性 13.7 （平成 34 年度）	男性 B 女性 A
2	高血圧の改善 （収縮期血圧の平均値）	男性 126.7mmHg 女性 121.3mmHg （平成 22 年度）	男性 125.3mmHg 女性 119.9mmHg （平成 28 年度）	男性 126.1mmHg 女性 120.9mmHg （平成 28 年度）	男性 123.8mmHg 女性 118.5mmHg （平成 34 年度）	C
3	脂質異常症の減少 （LDL コレステロール 160mg/dl 以上の者の割合）	男性 12.8% 女性 13.3% （平成 22 年度）	男性 11.2% 女性 11.7% （平成 28 年度）	男性 14.7% 女性 15.4% （平成 28 年度）	男性 9.6% 女性 10.0% （平成 34 年度）	D
4	メタボリックシンドローム の該当者及び予備群の減少 （メタボリックシンドロームの 該当者及び予備群の割合）	6,506 人 27.9% （平成 20 年度） 「広島市特定健 康診査結果」	—	8.0% （平成 28 年度対 20 年度比減少率） 【参考】 9,383 人 26.7% （平成 28 年度） 「広島市特定健 康診査結果」	平成 20 年度と 比べて 25%減少 （平成 29 年度）	C
5	健康診査の受診率の向上 （健康診査の受診率）	65.6% （平成 22 年） 【参考】 特定健康診査 13.6% 特定保健指導 31.5% （広島市国民 健康保険） （平成 23 年度）	69.4% （平成 28 年度）	67.3% （平成 28 年） 【参考】 特定健康診査 19.1% 特定保健指導 32.7 % （広島市国民 健康保険） （平成 28 年度）	70% （平成 29 年度）	C
6	（再掲） 成人の喫煙率の減少 （成人の喫煙率）	16.6% （平成 23 年度）	13.4% （平成 29 年度）	16.6% （平成 29 年度）	10.8% （平成 34 年度）	C

3 目標達成状況

区 分	項目数
A 目標値に達した	
B 目標値に達していないが改善傾向にある	1
C 変わらない	4
D 悪化している	1
E 評価困難	
合 計	6

4 評価

- 脳血管疾患の年齢調整死亡率は、男女とも減少し目標値に達している。
- 虚血性心疾患の年齢調整死亡率は、男性は減少し女性は目標値に達している。
- 収縮期血圧の平均値は、男女ともに低下しているが、中間目標値に達していない。
- LDL コレステロール 160mg/dl 以上の者の割合は、男女ともに増加し悪化している。
- メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合は、減少しているが目標値に達していない。
- 健康診査の受診率は増加しているが、中間目標値に達していない。
- 成人の喫煙率については、P. 11 参照

5 今後の課題

- 脳血管疾患及び心疾患は、がんと並び広島市民の主要な死亡原因であることから、引き続き予防対策が必要である。
- 循環器疾患を予防するためには、疾患について正しい知識を持ち、望ましい生活習慣を実践することが必要である。中でも、栄養（肥満者の割合の減少、食塩摂取量の減少、野菜摂取量の増加）、運動（歩数の増加、運動習慣者の割合の増加）、喫煙（成人の喫煙率の減少）、飲酒（生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少）に対する取組を推進していく必要がある。
なお、こうした取組は、地域保健と職域保健が連携を図りながら進めていくことが重要である。
- 循環器疾患の早期発見、早期治療に結びつけるため、健康診査の重要性について普及啓発を図るとともに、健康診査の受診率の向上のための取組を推進する必要がある。
※「メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少」、「健康診査の受診率の向上」については、第3期特定健康診査実施計画を踏まえ、今後の目標値の再設定を検討する必要がある。
- 成人の喫煙率における今後の課題については、P. 11 参照